

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
厚真町	簡易水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組

事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			現行の経営 体制を継続
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
					●		

抜本的な改革の取組状況

取組事項

民間活用(包括的民間委託)

実施済	●	(取組の概要) 下記施設の運転管理が必要となつたため 浄水場 2箇所 ポンプ場 3箇所	→	((実施済のみ)性能発注内容) レベル2(運転管理+ユーティリティ管理)	(実施(予定)時期) 平成 22 年 10 月 1 日
実施予定		(取組の効果額) 百万円(年)		(取組の効果額内訳) 効果額未算定	
検討中		(取組の概要)		(検討状況・課題)	

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
厚真町	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組						現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用		
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用
			●		●	

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事業)広域化等				
実施済		(実施類型) 汚水処理施設の統廃合	(取組の概要)	(実施(予定)時期)	
		処理場廃止あり	処理場廃止なし		
		公共下水・流域下水の統合	公共下水同士の統合	集落排水・公共下水との統合	特環下水と公共下水との統合
				その他	
実施予定		汚泥処理の共同化	維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)	
		(取組の効果額) 百万円(年)	(取組の効果額内訳)		
検討中	●	北海道主体による取組を計画中(ソフト計画メイン)			
		(取組の概要)	(検討状況・課題)		

取組事項	民間活用(包括的民間委託)				
実施済	●	(取組の概要)	((実施済のみ)性能発注内容)	(実施(予定)時期)	
		浄化センター 1箇所 ポンプ場 1箇所 マンホールポンプ場 4箇所 真空樹及び付帯施設 1式	レベル2(運転管理+ユーティリティ管理)	平成 22 年	10 月
実施予定				1 日	
		(取組の効果額) 百万円(年)	(取組の効果額内訳)		
			効果額未算定		
検討中		(取組の概要)	(検討状況・課題)		

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
厚真町	下水道事業	特定地域排水処理施設	

実施状況

抜本的な改革の取組

事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			現行の経営 体制を継続
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

本町の事業規模では、民間活力の活用を実施すること、また、近隣市町村との共同化、広域化についても事業形態が異なることから困難と考えられている。現行においては、保守管理などの一部の業務を民間委託し、その他の業務を職員が行うことによって合併浄化槽の整備と町全体としての生活排水処理の普及が促進されているため抜本的な改革の検討に至っていない。